スタディポケット

2026年11月20日
スタディポケット株式会社

報道関係者各位

スタディポケット、日本語指導が必要な児童生徒との会話を通訳する、教育現場に特化した「AI同時通訳」を2027年4月から正式提供

GIGA スクール端末のブラウザで使える学校向けの通訳。料金は1校あたり年額5万円（税別）から。特別な端末、追加機器は購入不要で、教室空間での先生の声や、グループ学習でも使える精度を実現。

スタディポケット株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：山地 瞭、代表取締役CAIO：鶴田 浩之、以下「スタディポケット」）は、日本語指導が必要な児童生徒や外国にルーツのある保護者と先生の会話を通訳する学校向けのWebサービス「スタディポケット AI同時通訳」を、2027年4月から正式に提供することを決定しました。

GIGA スクール端末のブラウザで使え、専用の機器は必要ありません。料金は1校あたり年額50,000円（税別）で、教職員は全員が、日本語指導が必要な児童生徒は5名まで使えます。

スタディポケット AI同時通訳は、12月1日に開催するプロダクト発表会「StudyPocket Product Day 2026」の発表 第2弾として、より詳しいデモンストレーションを実施いたします。

基本料金（1校あたり）	＋	児童生徒の追加（6名目から1名あたり）
50,000円（税別）／年 教職員 全員 / 日本語指導が必要な児童生徒 5名まで		**10,000円**（税別）／年

■ 学校向けWebサービス「スタディポケット AI同時通訳」について

「スタディポケット AI同時通訳」は、先生と、日本語指導が必要な児童生徒や外国にルーツのある保護者との会話を、その場で双方向に通訳する学校向けのWebサービスです。学校にある GIGA スクール端末のブラウザで使い、授業や面談の場面で、**児童生徒一人ひとりの言語での対話**を支えます。

本製品は、2026年5月に「スタディポケット AI通訳」として発表し、本年度において「スタディポケット for TEACHER」の教員アカウント向けに、無償で提供しました。その後は、お問い合わせをいただいた学校・自治体での試用を続けています。正式提供にあわせて名前を「スタディポケット AI同時通訳」とし、発表の時点で未定としていた料金と提供の時期を決めました。

■ 試用した先生の声

> 三者懇談の際、ベトナム出身の保護者との会話の中でAI同時通訳を利用しました。保護者から母語で「先生、ありがとう。本当に感謝している」と涙ながらに伝えていただき、言葉の壁を越えて気持ちが通じたことを実感しました。
>
> （中国・四国エリア　公立中学校　教員）

■ 開発の背景

日本語指導が必要な児童生徒	在籍する公立学校	うち在籍が1〜4人の学校
84,759人	**12,668校**	**約8,300校**
前回の調査より22.6%増	全公立学校の39.4%	在籍する学校の約3分の2

出典：文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（令和7年度）」（2026年5月公表）。児童生徒の数は2025年5月1日現在

文部科学省の調査によると、**公立学校で日本語指導が必要な児童生徒は84,759人**で、前回の調査（令和5年度）より15,636人、22.6%増えました。在籍する公立学校は12,668校で、このうち5人以上が在籍する学校は4,329校、**残る約8,300校（約3分の2）は在籍が1〜4人**です。外国籍の児童生徒が使う言語は、中国語が24.3%、ポルトガル語が16.3%で、この2つを合わせても約4割にとどまります。

日本語指導が必要な児童生徒は、**多くの学校に少人数ずつ在籍し、使う言語も学校ごとに異なります。**通訳者や母語支援員を全校に常に置くことは難しく、授業や面談では、先生が身振りや翻訳の道具を組み合わせて対応している場面が少なくありません。スタディポケット AI同時通訳は、学校にすでにある GIGA スクール端末を使い、日本語指導が必要な児童生徒の授業への参加と、先生や保護者との対話を支えるために開発を進めてきました。

■ スタディポケット AI同時通訳の主な特長

- **児童生徒それぞれの言語で双方向に通訳**：先生の日本語を相手の言語へ、児童生徒や保護者の言葉を日本語へ、リアルタイムで通訳して画面に表示します。対応する言語は、日本語を含む60言語です。話し手が替わるたびにボタンを押す必要はありません。
- **GIGA スクール端末のブラウザで動作**：専用の翻訳機やアプリのインストールは必要ありません。
- **授業と面談で使いやすい画面**：原文と訳を横に並べる表示に加え、向かい合って話すための対面モード、全画面表示、文字の大きさの変更に対応しています。会話の記録、AIによる要約、TXT・CSVでの書き出しもできます。
- **学校が決める利用の範囲**：教職員は全員が使えます。日本語指導が必要な児童生徒は、学校の管理者が名簿から1人ずつ割り当てます。
- **日本リージョンでの音声の処理**：音声の認識と通訳には、音声AIの Soniox の日本リージョンを使います。

■ 学校単位の提供の条件、料金

使える人	契約した学校の教職員全員、学校が割り当てた日本語指導が必要な児童生徒
推奨機種	iPad・Chromebook・Windows 端末など、GIGA 端末の Web ブラウザ（専用の機器は不要）。2Mbps 以上の安定した Wi-Fi の帯域を推奨。特定のブラウザフィルターアプリでは使えない可能性があるため、事前にトライアルでご確認ください
料金	基本：1校あたり年額50,000円（税別。教職員全員と、日本語指導が必要な児童生徒5名まで）／追加：6名目から1名あたり年額10,000円（税別）。ボリュームディスカウントや実証事業の発足など、自治体・学校のご相談に柔軟に応じます
契約	学校単位・年度単位（4月〜翌年3月）。見積書・請求書の発行に対応
トライアル・デモ	個別にご相談ください

■ 今後の予定と Product Day のご案内

2026年12月1日	「StudyPocket Product Day 2026」でデモンストレーション
2027年2月末	本年度実証の無料お試し利用の終了
2027年4月	正式提供の開始

StudyPocket Product Day 2026
2026年12月1日（火）15:00〜16:30
オンライン・参加無料（要事前申込）
https://events.studypocket.ai/productday2026/

スタディポケット株式会社　〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント19F／代表者：代表取締役CEO 山地 瞭、代表取締役CAIO 鶴田 浩之／設立：2019年7月／https://studypocket.ai
教育利用に特化した学校向け生成AIサービスとして、児童生徒の学習支援と、教職員の校務支援の両面から、学校教育における生成AI活用を支援しています。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
スタディポケット株式会社　担当：山地　E-mail：pr@studypocket.co.jp　TEL：070-8577-6051